

## 第1・2学年 音楽科学習指導案

日時：平成27年6月26日（金）5校時

場所：1・2年教室

児童：計6名（1学年1名，2学年5名）

授業者：阿部佳枝

**研究主題：「自らの考えや思いをもち、意欲的に学習に取り組む子どもの育成」**  
**個人研究テーマ「複式学級における音楽科の指導はどうあればよいか」**

- 1 題材名 〈1年〉 どれみでうたったりふいたりしよう（教育芸術社 小学生のおんがく1）  
〈2年〉 音のたかさのちがいをかんじとろう（教育芸術社 小学生のおんがく2）
- 2 教材名 「みつばちのぼうけん」「どんぐりさんのおうち」「どれみであいさつ」「なかよし」  
「かえるの音あそび」「かえるのがっしょう」「ドレミのうた」「ドレミであそび」

### 3 題材設定の理由

#### （1）題材について

本題材は、小学校学習指導要領「A表現（1）ア 範唱を聴いて歌ったり，階名で模唱したり暗唱したりすること」や、「A表現（2）ア 範奏を聴いたり，リズム譜などを見たりして演奏すること」「A表現（2）ウ 身近な楽器に親しみ，音色に気をつけて簡単なリズムや旋律を演奏すること」に関わる学習を中心に設定した。

この題材では，これまで学習してきた拍の流れやリズム遊びなどを土台にして，新たに音色や響きの違いに気付いたり，音の出し方を工夫したりして音色に関心をもつことや，階名で模唱や暗唱をしたり，これをもとに楽器で演奏したりすることができることをねらいとしている。

1年生は初めての鍵盤ハーモニカを使った学習なので，正しい楽器の扱い方や基本的な奏法に慣れ，表現を楽しむために友達と音色を聴き合ったり，強弱などの音の出し方の工夫を見付け合ったりする活動を取り入れている。友達の表現のよさに気付き，互いに認め合うことによってさらに意欲的に学習に取り組むことができると考える。また，2年生の題材「音のたかさのちがいをかんじとろう」では，鍵盤ハーモニカの学習と並行して，旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して，音高の違いを感じ取りながら音程感覚を身につけさせていく。複式指導においてもこの題材は系統性のあるものであり，1年生の基本的な内容を学級全体で共有し，鍵盤楽器については，階名暗唱を基に拍の流れを感じ取って旋律を演奏するなどの表現の技能を，段階を追って丁寧に学習を進めていく。

#### （2）児童について

本学級は，1年生1名，2年生5名の学級である。6名の少人数学級であるが，歌ったり，音楽に合わせて身体表現したりすることに興味を持って積極的に活動している。1年生は，下学年ということだけでなくたった1名であるために，間接指導については，学習する楽しさをあまり感じられず，自分の力で学習を進めることが難しいことがある。

そこで，音楽の授業では，皆で歌ったり，演奏したりする楽しさを味わわせるために，一斉指導の中で1年生の学習内容にふれるようにしてきた。2年生は，音に合わせて歌ったり体を動かしたりすることが好きで，曲の感じをつかんで自分なりに体で表現することが得意な子もいる。また，2年生は，1年生に声をかけて一緒に学習したり教えたりして，上学年としてなかよく交流している。しかし，鍵盤ハーモニカの演奏の技能においては，入学前の経験に差があったために現在でも個人差が大きく，苦手意識をもっている子もいて，意欲的に学習できない様子も見られる。そのような不安を取り除き，「できるようにになりたい」という児童の思いや願いに応えられるような授業を目指したい。

### (3) 指導について

本校研究主題をもとに、音楽科では以下の視点をもって学習指導を展開していきたい。

#### ①視点1 自らの考えや思いをもたせる複式指導の工夫

ア 皆で演奏したり交流したりする活動を通して、互いのよさを見つけたり、感じ取ったりしたことを表現させる。

本題材は、階名で模唱したり、暗唱したりして階名を覚えるとともに、1年生では鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身につけ、2年生では楽器で旋律遊びをしたりすることをねらいとしている。

このように、各学年の学習課題や学習内容の違いはあるが、皆で楽しく演奏したり交流したりすることで、音楽の楽しさを味わわせ、友達によさに気づかせたい。交流では、感じたことを言葉で発表させることにより、自分の考えや思いを表現できるような場を設定したい。

#### ②視点2 意欲的に学習に取り組ませる複式指導の工夫

ア 一斉指導で、一緒に歌ったり、演奏したりすることで、音楽の楽しさを味わわせる。

イ 各学年の学習課題や学習内容を明確にし、学びの見通しを持たせる。

ウ 技能面の差が大きいことから、下学年の学習内容を上学年も共に確認し、一人一人が無理なく、段階的に学習に取り組めるような工夫をする。

1年生は、小学校で初めて鍵盤ハーモニカの演奏をすることになり、技能面で2年生との差が大きく、苦手意識をもっているようである。そこで、本題材では、鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身につけることを通して、学年の課題を明確に設定することで「できた」という達成感を、また、2年生と楽しく演奏する場面を設けて、音楽の楽しさを味わわせたい。2年生は、音楽の好きな児童が多いが、技能面での個人差が大きいことから、複式指導の一斉指導の中で、1年生と共に、基本的な鍵盤ハーモニカの演奏の仕方や、階名や鍵盤の位置、運指（5本の指を使うこと）を丁寧に指導していく。鍵盤の位置が分からない児童については、階名シールを貼る手立てをとり、苦手意識を解消したい。また、音楽の楽しさを味わうために、旋律を階名で模唱したり暗唱したりする活動を通して、音の高さの違いを聴き比べたり、聴き分けたりする学習を大事に進めていく。

## 4 題材のねらい

〈第1学年〉

○階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びをしたりして、階名に親しむことができるようにする。

○鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身につけたり、きれいな音に気付いて聴いたりすることができるようにする。

〈第2学年〉

○音の高さの違いに気づき、声の出し方や発音を工夫して即興的な音遊びをしたり、楽器で旋律遊びをしたりすることができるようにする。

○音の高さに気をつけながら、階名で模唱や暗唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりすることができるようにする。

## 5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
①鍵盤ハーモニカの音色や演奏、音の高さに興味・関心をもち、歌ったり、音の出し方に気をつけて演奏したりする学習に進んで取り組もうとする。 ②鍵盤ハーモニカに親しみ、音色に気をつけて簡単な旋律を演奏する学習に進んで取り組もうとする。 ③音の高さの違いに気をつけて、短い旋律をつくる学習に進んで取り組もうとする。	①音の高低や長短を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、音の出し方や声の出し方を工夫している。 ②旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取って、つなぐ音を試しながら旋律遊びをしている。	①鍵盤の位置を覚え、運指や音色に気を付けて鍵盤ハーモニカを演奏している。 ②音の高さの違いを感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりしている。 ③旋律の動きに気をつけて、拍の流れを感じ取って鍵盤楽器を演奏している。	①歌詞の内容と音の高さとのかわり合いを感じ取って、楽曲全体にわたる気分を楽しんで聴いている。

6 指導と評価の計画（9時間）

時	学習活動	評価規準・評価方法	
		Bおおむね満足できる	Bに至らない児童への手立て
1	<p>「みつばちのぼうけん」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や様子を想像しながら、鍵盤ハーモニカのよさに気付いて聴く。</li> </ul> <p>「かえるの音あそび」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かえるの鳴き声や様子を声で表し、声の高さの違いを生かし、声の出し方を工夫して音遊びをする。</li> </ul> <p>★<b>視点2</b> 様々な音楽体験を一緒に行うことを通して、音楽の楽しさを味わわせる。</p>	<p>(創) 声の音色や音の高さを聴き取り、それらの組み合わせによる表現の面白さを感じ取り、声の出し方や音の高さを工夫している。</p>	<p>○スムーズに音遊びが出来る子を紹介したり、教師がやってみせたりする。</p>
2	<p>「ドレミのうた」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の高さの違いを感じ取りながら、楽しんで聴く。</li> <li>・鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を確認する。</li> </ul> <p>「たのしくふこう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏する。音の高低や長短を工夫して、いろいろな音を吹く。</li> <li>・音の高さの違いに気をつけて「ドレミのまねっこ」を歌ったり、演奏したりする。</li> </ul> <p>★<b>視点1</b> 学習したことを一人ずつ発表し、いろいろな音があることに気付かせ、友達のよいところをまねて演奏してみようという思いをもたせる。</p> <p>★<b>視点2</b> 一緒に歌うことで音の高さを感じ取ったり、歌うことの楽しさを味わわせる。学年毎に目標をもたせる。</p>	<p>(鑑) 歌詞の内容と音の高さとのかかわり合いを感じ取って、楽しんで聴いている。</p> <p>(創) 音の高低や長短を聴き取り、それらの働きが生み出す面白さを感じ取って、音の出し方を工夫している。</p>	<p>○音の高さを手の位置で表したり、音の階段を使ったりして、いろいろな方法で音の高さの違いを実感できるようにする。</p> <p>○鍵盤の位置と音の高さ、息の長さや音の長さが関連していることに気づくように助言する。</p>
3	<p>「どんぐりさんのおうち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の出し方に気をつけて、鍵盤ハーモニカの演奏の仕方に親しむ。</li> <li>・音の高さの違いに気をつけて「ドレミのまねっこ」をする。</li> <li>・階名をまねて歌ったり、演奏したりする。</li> </ul> <p>★<b>視点2</b> 一緒に歌うことで音の高さを感じ取り、歌うことの楽しさを味わわせる。学年毎に目標をもたせる。</p>	<p>(関) 鍵盤ハーモニカの音色や演奏に興味・関心をもち、音の出し方に気をつけて演奏する学習に進んで取り組もうとする。</p> <p>(技) 音の高さの違いを感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりしている。</p>	<p>○黒鍵の位置を手がかりに探すように促す。息の強さや勢いに気をつけさせる。</p> <p>○音の高さを手の位置で示したり、挿絵を指したりしながら歌い、音の高さを意識させる。</p>
4	<p>「どれみであいさつ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音の高さの違いを感じ取りながら、鍵盤ハーモニカのドレミの位置を覚える。</li> </ul> <p>「かえるのがっしょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拍の流れを感じ取って、歌詞唱や階名唱をする。</li> </ul> <p>★<b>視点2</b> 旋律を階名で模唱したり暗唱したりして、音の高さの違いに対する感覚を楽しむ。基本的な鍵盤ハーモニカの演奏の仕方や、階名や鍵盤の位置、運指（5本の指を使うこと）を丁寧に指導する。</p>	<p>(関) 音の高さの違いに気をつけて歌う学習に進んで取り組もうとしている。</p>	<p>○鍵盤の位置が分からない児童には、鍵盤にシールを貼る。</p> <p>○旋律が順次進行であることに気付かせ、音の階段を意識して歌うようにする。</p>

5	<p>「なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音の高さを変化を感じ取って、旋律を階名唱する。</li> <li>鍵盤ハーモニカのファとソの位置を覚える。</li> </ul> <p>「かえるのがっしょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの歌声に気をつけて、歌詞や階名で輪唱する。</li> </ul> <p>★<b>視点2</b> 一緒に歌うことで音の高さを感じ取ったり、演奏したりことの楽しさを味わわせる。学年毎に目標をもたせる。</p>	<p>(関) 音の高低を感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとする。</p> <p>(技) 友達の歌声を聴きながら歌詞や階名で歌っている。</p>	<p>○階名や指番号で範唱して、鍵盤の位置と指番号を対応させられるようにシールを手立てにする。</p> <p>○もう一つのグループの声が聞こえるように声の強さに気をつけて歌うように助言する。教師も一緒に歌う。</p>
6 本 時	<p>「なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏する。</li> </ul> <p>「かえるのがっしょう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音色に気をつけて、旋律を楽器で演奏する。</li> </ul> <p>★<b>視点1</b> 友達のよいところを見つけ、交流を深めさせる。</p> <p>★<b>視点2</b> 一緒に歌うことで音の高さを感じ取ったり、演奏したりことの楽しさを味わわせる。学年毎に目標をもたせる。</p>	<p>(技) 音色やポジションの移動に気をつけて、鍵盤楽器を演奏している。</p>	<p>○2小節ずつ区切って演奏し、慣れてきたらポジション移動に気をつけながら演奏させる。</p> <p>○指番号を合わせる練習や音の高さの違いを感じ取ることができる練習など、様々な場を設定する。</p>
7	<p>「なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歌を歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏する。</li> </ul> <p>「ドレミであそぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CDを聴いて、曲の感じをつかんで歌う。</li> </ul> <p>・演奏の仕方に気をつけて、イの旋律を楽器で演奏する。</p> <p>★<b>視点2</b> 旋律を階名で模唱したり暗唱したりして、音の高さの違いに対する感覚を楽しむ。基本的な鍵盤ハーモニカの演奏の仕方や、階名や鍵盤の位置、運指を丁寧に指導する。</p>	<p>(創) 音色や旋律を聴き取り、音の高低を感じ取りながら音の出し方を工夫し、どのように歌ったり演奏したりするかについて思いをもっている。</p>	<p>○優しい音色で演奏するには、息の強さに気をつけるよう助言する。</p>
8	<p>「なかよし」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>音色に気をつけて「どれみふあそのまねっこ」遊びをする。</li> </ul> <p>「ドレミであそぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アの旋律とイの旋律の違いを感じ取って演奏する。</li> </ul> <p>★<b>視点2</b> 旋律を階名で模唱したり暗唱したりして、音の高さの違いに対する感覚を楽しむ。基本的な鍵盤ハーモニカの演奏の仕方や、階名や鍵盤の位置、運指を丁寧に指導する。</p>	<p>(関) 範唱を聴き、ド～ソの音を使って模奏したり模唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>(技) 旋律の動きに気をつけて、拍の流れを感じ取って鍵盤楽器を演奏している。</p>	<p>○階名範唱→指番号による範唱→階名による範唱というように、段階をふんで丁寧に指導する。</p> <p>○フレーズに気をつけて演奏させ、友達や教師の演奏を聴かせて動きを捉えさせる。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>音の高さの違いを意識して「どれみのまねっこ」遊びをする。</li> </ul> <p>「ドレミであそぼ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短い旋律をつくり、楽器で演奏する。</li> </ul> <p>★<b>視点1</b> 様々な音楽体験を通して、音楽の楽しさを味わわせる。みんなで楽しく演奏したり交流することで、音楽の楽しさを味わわせ、友達のよさに気付かせる。</p>	<p>(関) 音の高低を感じ取りながら、階名で模唱したり暗唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。</p> <p>(創) 旋律を聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取ってつなぐ音を試しながら旋律遊びをしている。</p>	<p>○風船の挿絵を使ったりして、音の高さの違いに気をつけて歌うように促す。</p> <p>○旋律が出来上がった友達の演奏を聴いて、音を選んでみるように促す。</p>

7 本時の指導〈6／9時間〉

(1) 目標

〈1年〉ド～ファの鍵盤の位置や運指に気をつけて、鍵盤ハーモニカを演奏することができるようにする。

〈2年〉ド～ラの鍵盤の位置やポジション移動に気をつけて、鍵盤ハーモニカを演奏することができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動	指導上の留意点 支援 (○) 視点 (★) 評価 (◆)
導入 12分	<p>1 「ドレミのうた」を歌う。</p> <p>2 前時の復習をする。 ・5本指を動かす練習をする。 ・「なかよし」を階名で歌い、演奏する。</p> <p>3 本時の学習課題を確かめる。 〈1年〉 ゆびばんごうにきをつけて、けんばんハーモニカをひこう。 〈2年〉 おやゆびのいちに気をつけて、けんばんハーモニカをひこう。</p>	<p>★<b>視点2</b>一緒に歌うことで音の高さを感じ取ったり、歌ったりする楽しさを味わわせる。</p> <p>○音の高さを手の位置で表したり、音の階段を使ったりして、音の高さの違いを実感できるようにする。</p> <p>○階名や指番号で範唱して、鍵盤の位置と指番号を対応させられるように、階名シールを手がかりに練習・演奏する。</p> <p>○1年生や2年生の苦手な児童は、ファ・ソの位置や4・5の指を動かすことが難しいので、ペアになり、互いに演奏の仕方や運指が正しいかを確認する。</p> <p>★<b>視点2</b>前時までの学習内容をふりかえり、各学年の学習課題を明確にし、学びの見通しをもたせる。</p>
展開 28分	<p>3 音の高さの変化を感じ取って旋律を階名唱したり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。 ・「かえるのがっしょう」を階名で歌い、演奏する。 〈1年〉 間接→直接 ・「かえるのがっしょう」のド～ファの音域で演奏できる部分を練習する。 〈2年〉 直接→間接 ・「かえるのがっしょう」を階名、運指、ポジション移動に気を付けて演奏する。</p> <p>4 学習したことを発表する。 〈1年〉 ・「かえるのがっしょう」を2年生とペアで演奏する。 〈2年〉 ・「かえるのがっしょう」を一人で演奏する。</p>	<p>◆音の高低を感じ取りながら階名で模唱したり、暗唱したりする学習に進んで取り組もうとする。(関・意・態)</p> <p>○1年生は、まず間接指導で「ド～ファまでの音域で演奏できる」部分を練習する。一人でも練習できるように指番号を合わせる練習や音の高さの違いを感じ取ることができる練習など、様々な場を設定する。</p> <p>○2年生は、まず直接指導で「ポジション移動」に気を付けて弾くことを練習する。その後、間接で個の技能に合わせた練習を様々な場を使ってできるようにする。</p> <p>◆鍵盤の位置、音色やポジションの移動に気をつけて、鍵盤ハーモニカを演奏している。(技能)</p> <p>○1年生は、練習していない部分を2年生のペアに手伝って弾いてもらい、演奏を発表する。</p> <p>★<b>視点1</b>演奏を聴き合い、友達のよいところや感じ取ったところを表現させる。</p>
終末 5分	<p>5 今日の学習をふりかえる。 ・がんばったこと、これからがんばりたいことを発表し合う。 ・次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○自分ががんばったこと、これからの学習でがんばりたいことを発表し合い、次時への目標をもたせる。</p>